

新年を迎えて

台東区議会自由民主党

創りあげたい台東区がある。
誇りのもてる“台東区”を



堀江 達也 田口 治喜 金田 功 寺井 康芳 実川 利隆 小菅 康雄



高柳 良夫 鈴木 昭司 大和田 功 鈴木 茂 太田 雅久 和泉 浩司

真の「保守」とは日々、改革し続ける事だと考えます。



福祉・教育・産業・環境・・・

明るく元気な街づくり！！

下町の文化・歴史・芸術・伝統を生かした街づくり

粋でいなせな下町文化や芸術など、多彩な資源を活かした、暮らす人、訪れる人にも魅力ある街づくり！！

- ・観光インフラ（交通・美観・案内・トイレなど）の整備！！
- ・第2東京タワーとの連携。バスプール・水上交通などアクセス整備。
- ・伝統工芸・皮革・宝飾・玩具など地場産業振興のため「地場産業祭り」開催。

安心・安全で快適な街づくり

安心・安全、どなたにとっても快適で、だれもが、いつまでも、心豊かに暮らせる街づくり！！

- ・防犯・防災体制の整備充実。地域医療体制の充実。

真の子育て先進区へ

教育・保育の充実整備。「中学生までの医療費無料化」に続き、安心して次の世代を育ていける街づくり！！

- ・「教育は人」の原点に帰り、教職員のレベルアップ。基礎・基本教育の徹底。
- ・「24時間小児救急」体制に向けて、小児医療の充実。
- ・「幼児インフルエンザ予防接種助成」を。

台東区議会区民クラブ

「アップグレード台東。」発信



木村 肇 伊藤 萬太郎 木下 悦希 青柳 雅之



河野 純之佐 水島 道徳 中山 寛進 君塚 裕史

新年を寿ぎ本年の益々のご発展をお祈り申し上げます。

さて、2000年の地方分権一括法の制定以来、地方自治体は国と主従関係から極めて対等関係に移行したものと認識しております。当然、台東区においても独自性や主体性が問われる時代であると言っても過言ではあり

ありません。また、自治体が全くスタイルの異なる「地方政府」として生まれかわらなければならないのです。

そこでは、もちろん区長や議員は、政治家として発想力、政治判断などが求められます。

従来国や東京都の仕事に踏襲して無難にこなそうという自治体と、財政が厳しい中であっても様々なアイデアと工夫で自らの力で政策を創造しようとする自治体では大きな地域間格差が生じ始めることとなります。

台東区が行う政策から起因する様々なことが、台東区の発展をも左右される時代に入ってまいりました。

そこで「台東区はこんなモンじゃない。」というテーマのもとで、会派の政策力をさらに磨き、現実のものとする為に、日々努力をする所存です。

又、山積した多くの課題を積極果敢に取り組むことはもちろんのこと、夢とロマンの未来に向けて、区政変革の先頭に立つ決意であります。

私たち区民クラブは「アップグレード台東。」の出発の年と捉え、区民の方々とのパートナーシップにより、質の高い政策を生み出してまいります。

最後に、台東区の益々の発展と区民の皆様が良き一年になりますことをお祈り申し上げご挨拶に代えさせていただきます。

平成19年・区民クラブの目標

- ・子供達を生み育てやすい台東区にします。
- ・お年寄りを大切にする台東区にします。
- ・障害者や介護者の日々の生活実態を把握するとともに、速やかに問題解決を図ります。
- ・地域の文化性や伝統をいかし、国際観光都市としての機能充実を図ります。
- ・子供達が夢や希望をいまくことを大いに受け入れ、教育機会の充実を図ります。



議員の年賀状など
新年のごあ

各会派の抱負

台東区議会公明党

人が輝く社会目指して!



こ だま こう き 小玉 高毅
 す ぎ やま ま さ よ し 杉山 全良
 し み ず こ う い ち ろ う 清水 恒一郎
 い け だ き よ え 池田 清江
 こ す げ ち ほ こ 小菅 千保子

区民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私たち公明党は、昨年9月30日に党全国大会を開き、闘う人間主義、生活現場主義を掲げ、「人が輝く社会」の実現をめざし、「新しい公明党」として、勇躍スタートいたしました。

21世紀前半を展望すると、日本の総人口は初めて減少に転じました。人口・世帯の減少、高齢社会の進展をはじめ、就労形態の変化、世帯・居住形態の多様化、情報技術の革新、都市再生、地球環境問題の深刻化など、都市に関わるさまざまな変化が予想されます。

本区においては、このような社会経済状況の変化に対応するため、生活者の視点に立ち、今後取り組むべき下記の主要な課題に全力で取り組んでまいります。

1. 安全・安心のまちづくり

- ・災害に強い区を構築します。
- ・犯罪を許さない安心のまちづくりを推進。
- ・安心できる医療体制を構築します。
- ・食の安全対策を推進します。

2. 教育改革の推進

- ・基礎学力の向上、教育指導内容の充実、豊かな人間性の育成に力を注ぎます。
- ・障がい児などハンディのある子どもの教育支援を充実させます。
- ・不登校・いじめ・暴力など心の問題を解決するため、生活相談、学習支援などを充実させます。

3. 次世代支援を充実させ、子どもたちが健やかに育つ環境を整備いたします

- ・子育て相談・子育て広場・支援センター等を地域に設置し、専門スタッフとともに、地域の経験豊かな活力(熟年者等のマンパワー)を地域力として発揮できる環境を整備します。
- ・児童の放課後、休日の居場所、遊び場の確保を充実させ、安全・安心の環境づくりを進めます。

この1年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。

日本共産党台東区議会議員団

区政が変われば、
くらしも変わります!



も て ぎ た か よ し 茂木 孝孔
 す ぎ やま み つ お 杉山 光男
 い な が き こ う し 稲垣 晃司
 い と う と も こ 伊藤 友子
 は し づ め た か し 橋詰 高志

昨年末、政府税制調査会が大企業へは大判振る舞い、庶民には増税、そして消費税増税への方針を発表しました。

一方、テレビは連日のように政務調査費問題を取り上げ、上野地下駐車場建設問題も、敬老祝い金や子育て支援手当の廃止問題と絡めて放映されました。石原東京都知事の豪華海外視察や身内を優遇する都政の私物化も大きな問題になっています。

昨年8月の上野地下駐車場建設に関しての外部監査請求署名が8千名を超えたのも、国政・都政・台東区政を問わず、「税金のムダづかいをやめて、くらしを守る政治」を願う区民の声のあらわれでありました。

日本共産党区議団5名は中学生までの医療費無料化の実現のために、年齢別医療費を調査するなど制度発足への具体的提案を行い、区民のみなさんの運動を激励しました。昨年末には東京都も中学生までの医療費1割負担を表明するなど、制度は全都へ広がりました。

今後も、具体的な営業とくらしを守る提案を行うと同時に、1台あたり7千万円の工事費に加えて地下通路100億円の合計309億円もみなさんの税金が注ぎ込まれる、上野地下駐車場建設などの税金のムダづかいを徹底的に追及します。

また、こうした方向で意見が一致するみなさんと力をあわせて、区政を変えてまいります。ご一緒に、政治を変えていきましょう!



時候のあいさつ状は、公職選挙法により禁止されています。
 いさつは、本紙上をもって代えさせていただきます。